

「那珂川市中小企業振興条例」の概要

制定の背景

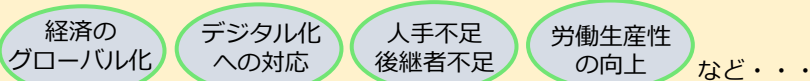
◆中小企業の割合

- 市内企業数の約**99.38%**が中小企業・小規模企業
- 市内従業者数の約**86.25%**

◆役割の重要性

- 企業活動により経済と雇用を支える役割
- 地元に着目し、地域のまちづくりにおいても貢献

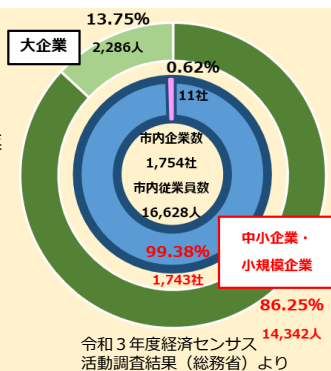
◆環境の変化への対応



◆中小企業・小規模企業とは？

- 中小企業
- 小規模企業

業種分類	中小企業基本法の定義	業種分類	従業員数
製造業その他	資本金3億円以下 & 従業員数300人以下	製造業その他	20人以下
卸売業	資本金1億円以下 & 従業員数100人以下	小売業	5人以下
小売業	資本金5千万円以下 & 従業員数50人以下		
サービス業	資本金5千万円以下 & 従業員数100人以下		



施策の基本方針【第4条】

- ①経営基盤の強化
- ②創業の促進
- ③中小企業との連携による地域経済循環の創出
- ④災害等緊急時の事業継続および回復

◆具体的な施策内容

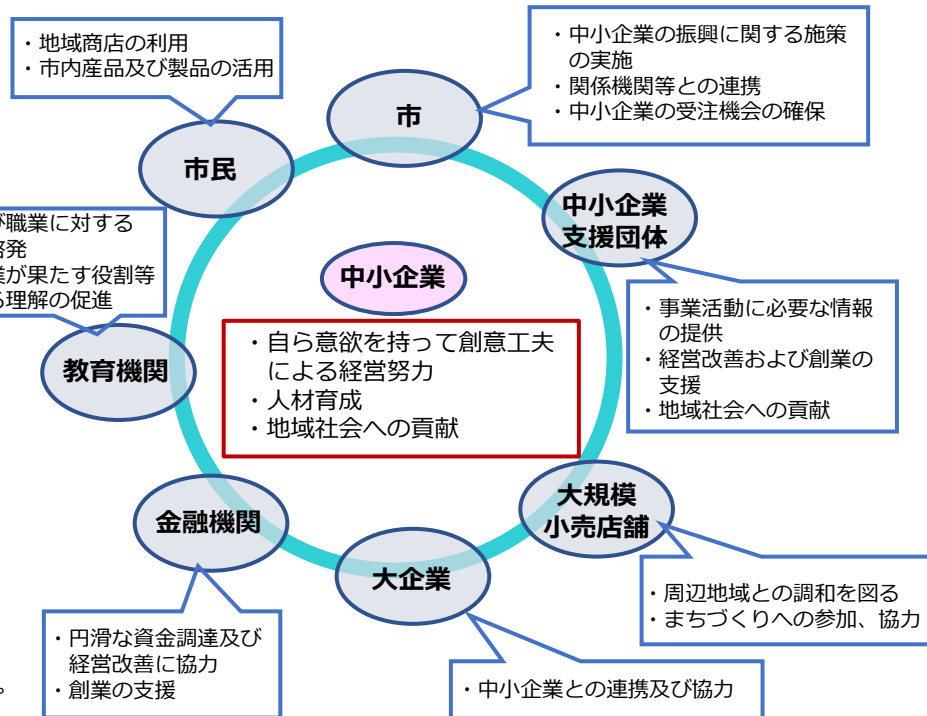
【市が直接行う施策】

- 商工会の支援
- 金融機関への融資預託金
- 融資の保証料補助
- セーフティネット貸付の売上認定
- ふるさと納税による販路拡大支援

【商工会を通じて行う施策】

- 経営相談やセミナー開催
- プレミアム商品券事業の実施
- 創業塾の開催
- 日本政策金融公庫での融資仲介
- 企業のBCP策定支援
- デジタル化の推進

それぞれの立場での責務・役割等【第5条～第12条】



条例の目的と基本理念【第1条～第3条】

◆目的

中小企業の振興について

- 基本理念を定める
- 関係機関の役割等を明らかにする
- 施策の基本方針を定める

中小企業の振興と持続的な発展を推進

- 本市経済の活性化
- 市民生活の向上につなげる

◆基本理念

- ①中小企業は**経営基盤の強化、経営の改善及び向上**に**自主的に努めるもの**とする。
- ②市、国、県、中小企業支援団体、金融機関等、教育機関、大企業及び大規模小売店舗が**連携**し、**市民の協力**を得て**地域社会全体**で中小企業の振興を行う。